

2020年度業務実績報告書

提出日

2021年 1月 20日

1. 職名・氏名 特任教授 池下 譲治2. 学位 学位 経営学修士 (MBA)、専門分野 グローバル経営・マーケティング、アジア・ASEAN 経済、授与機関 University of Strathclyde (UK)、授与年 2000 年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
グローバル経営戦略論（2）2020年後期（大学院）

② 内容・ねらい

まず、グローバル化に伴う世界経済の変容を歴史的な観点から俯瞰するとともに、そのビジネスにおける現代的な意味について、医療ビジネスのグローバル化などの事例とともに解説した。

次に、日本と諸外国との政治、経済、社会、文化の違いについて、各々の立場を擁護する意見と反対する意見を紹介するとともに議論した。その上で、これまで解決が困難とされてきた「国際ビジネスにおける倫理的課題」をケーススタディの中で取り上げ、全員で議論することによって、物事を多面的かつ多角的な視点から見る能力や異文化リテラシーの醸成を図った。

国際貿易、外国直接投資の理論ならびに、その政策や経営上の意味についても講義した。さらに、外部環境や内部資源に応じた企業の国際戦略ならびに同戦略に応じた組織アーキテクチャの構築の必要性などについて、それを導き出すための具体的なフレームワークの紹介とともに体系的に解説した。

最後に、本講義で学んだ知識や各種フレームワークを活用し、自社の国際戦略に関するビジネスモデルを構築するといった「演習」を行った。

本講義では、将来、国際的に活躍できる地域人材の育成・輩出を目的に、少人数での授業という特徴を最大限に生かし、一人ひとりのニーズと目的に応じた授業内容の構築を図った。具体的には、ケーススタディを多く取り入れ、各受講生の意見や考えを聞くことによって、随時、理解度をチェックしつつ補足説明を加えるなど、双方向的な運営に努めた。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

まず、目指したのは、各受講生のニーズや目的に沿った講義内容とすることである。そのため、第1回目の講義に際して、全受講生から本講義を受講する目的を聴取した。すると、「大学教員になりたい」、「授業で得た知識を自社で活用したい」、「世の中の動きをよりよく理解できるようにしたい」、など受講目的は三者三様であった。さらに、授業を進めていく中で、各受講生の経営学に関する知識レベルの格差が甚大であることが判明した。そこで、授業への関心が削がれることがないよう、極力、丁寧に解説するとともに、全員が参加できるようにケーススタディを多く取り入れた。授業では、随時、一人ひとりに問いかけを行うなど、全員の理解度と関心の度合いを確認しつつ、講義内容も柔軟に変えていくなど円滑な進行を心掛けた。

講義用の資料（パワーポイントなど）については、なるべく事前に配付するようにし、予習・復習が可能となるように内容的にも工夫した。

特に、演習については、各受講者が現在勤務している会社や組織などの国際展開を想定した上で、今回の授業で習ったツールを用いてできる内容とした。さらに、課題レポートの一部ともリンクすることによって、より関心が高まるように配慮・工夫した。

結果、受講生全員が皆勤してくれたことが何よりも嬉しかった。

(2)その他の教育活動

内容

主に、福井県内の社会人などを対象とするリカレント教育の一環として、世界経済や国際ビジネスに関する動画を配信（1月下旬～2月上旬に計3本を配信する予定）。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【 本】
②学術論文（査読あり）	【 本】
④ その他論文（査読なし） ・「変貌する世界経済、アジア経済と地域の対応（仮題）」福井県立大学地域経済研究所『ふくい地域経済研究』第32号（2021年3月発行予定）（単著）	【1本】
④学会発表等	【 件】
⑤その他の公表実績 『世界経済評論 IMPACT』（世界経済評論）への寄稿 ・「タイトル未定」（2021年2月予定） ・「国際経済の政治的トリレンマから見た米中覇権争い」（2020年11月） ・「コロナ禍の失業者対策にみる日米の差」（2020年8月） ・「新型コロナで露呈したグローバル社会の新たな課題：中国における「情報の非対称性」がもたらす危うさ」（2020年4月） 『Warm Topic』（北陸 AJEC）への寄稿 ・「米中対立と世界経済、その収斂と分断の構造」（2020年11月/12月号） 『福銀ジャーナル』への寄稿 ・「2021 世界経済見通し」（2021 新春号） 『地域経済研究所 e-メールマガジン』への寄稿 ・「ブラック・エレファント（＝COVIT-19）にどう立ち向かうか」2020年6月30日発行 【7本】	
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	
特になし（参加学会名：アジア政経学会、アジア経営学会、アジア市場経済学会）	

5. 地域・社会貢献活動

- ① ふくい貿易促進機構 事業推進チーム (2017 年 7 月～現在)
- ② 福井商工会議所 国際ビジネス委員会 (2017 年 7 月～現在)
- ③ 鯖江商工会議所 国際化委員会 (2017 年 7 月～現在)
- ④ 外部公開講座へ出張講演：
ひょうご講座【国際理解コース】第 4 回
タイトル：「米中対立と世界経済」、主催：公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構、
場所：兵庫県民会館、日時：2020 年 9 月 25 日 18：30～20：00
- ⑤ 福井県立大学一般教養科目後期「東南アジアの文化と社会」におけるゲスト講義
タイトル：「東南アジアの経済」、場所：永平寺キャンパス L210、日時：2020 年 11 月 6 日
17：00～18：30 (5 限)
- ⑥ 福井県立大学経済学部科目後期「アジア経済最前線と地域経済」におけるゲスト講義
タイトル：「グローバル経済における東南アジアの経済発展とマレーシア」、場所：Zoom 講
義、日時：2020 年 11 月 16 日 13：40～16：50 (3・4 限)

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

教育研究委員会 委員 H.30.4～現在に至る

(3)学内行事への参加

(4)その他、自発的活動など